

案件名 武豊町ごみ減量化実施計画（案）

募集期間 令和2年3月1日 ～ 令和2年3月31日

担当課名 環境課

番号	件数	意見の概要	町としての考え方
1	1	プラスチック製容器包装・紙類の分別促進及び住民負担軽減のため、現在の指定袋を値下げされたい。	プラスチック製容器包装、紙類の指定袋は、製造コストの実費程度での販売を検討します。
2	1	ごみ有料化の前に、コンポストや処理機による生ごみの減量、基準の明確化による紙類の資源化の促進を図られたい。	提案のありましたコンポスト等による生ごみ減量や紙類の資源化は制度としては既に実施済みです。有料化は、経済的な動機付けにより、住民の皆さんの行動を促すものです。紙類の資源化基準については、より分かりやすいポイントの周知に努めます。
3	1	どこまで減量できれば有料化の必要がないか具体的に示すべき。	この計画では、国の減量目標と同水準のごみ量やこれに伴う可燃ごみの量を目標としています。達成していくためには、有料化による経済的な動機付けが必要と考えます。
4	1	事業系のごみの有料化の方向性・内容について示すべき。	事業系ごみについては、許可業者による収集となっていることから、既に費用が発生しています。また、クリーンセンター常武では、家庭系を上回る手数料となっています。
5	1	東海市で採用されている「一定量無料型」も周知することが、住民のごみに対する意識向上に寄与すると考える。	東海市方式については、実施計画でも脚注で紹介しています。住民のごみに対する意識向上や理解を深めるため、啓発等に努めます。
6	1	処理施設の現在のコスト、新施設に移行した場合に予想されるコストを試算し、明示すべき。	現在の処理コストについては、1リットル当たりの単価を記載しています。なお、今回の有料化の意義は、経済的な動機付けであり、処理コストの費用負担を第一とするものではありません。